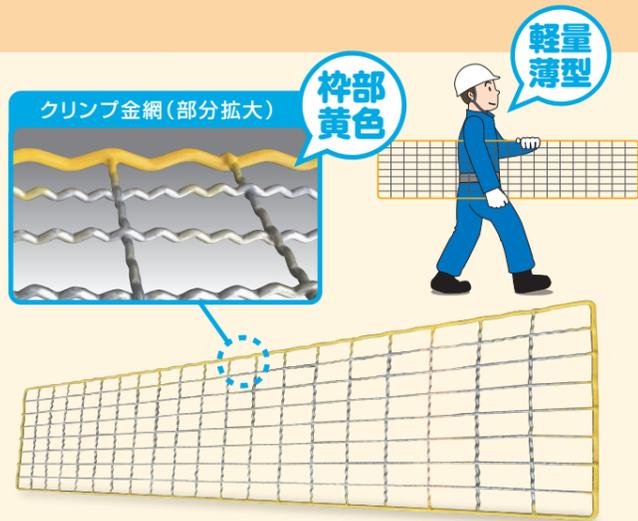


配筋上の足場敷き網 SGメッシュウオーク

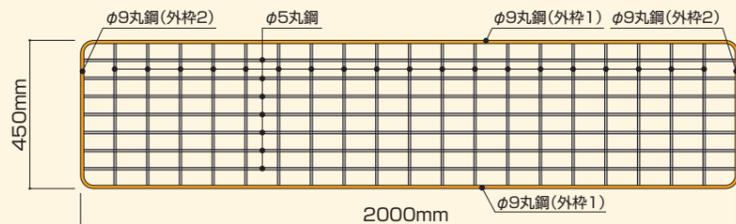
特長

荷重を分散

クリンプ金網を使用した足場面は滑りにくく安全です。軽量薄型で扱いやすく、通路として目立つ黄色の枠塗装がされています。また、荷重を分散し、配筋の損傷を防ぎます。



寸法・重量



プレス加工部	
φ9丸鋼(外枠1)	
φ9丸鋼(外枠2)	
φ5丸鋼	

寸法 (mm)			重量 (kg)
全体	網目寸法	線径	
450 × 2,000	55 × 100	φ9 × φ5	6.52

【使用上のご注意】

- 番線などで固定し、脱落防止の処置を行ってください。
- コンクリート付着時は、水洗いにて取り除いてください。・コンクリート及び油の付着にはご注意ください。別途ケレン費用が発生する可能性があります。

■ レンタル・販売

日本セイフティー株式会社
NIHON SAFETY CO., LTD.
<http://www.nihonsafety.com>

本社	〒102-0082 東京都千代田区一番町21番地 一番町東急ビル11F
東日本第1営業部	TEL.03-6369-2221 FAX.03-6369-2220
東日本第2営業部	TEL.03-6369-2222 FAX.03-6369-2230
ラップン事業部	TEL.03-6369-2223 FAX.03-6369-2228
大阪支店	〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目5-16 本町スクエアビル1F
営業部	TEL.06-6260-1122 FAX.06-6260-1123
東北支店	〒989-1503 宮城県柴田郡川崎町川内北川原山228-5
	TEL.0224-85-2331 FAX.0224-84-2333
名古屋支店	〒496-0026 愛知県津島市唐臼町二ツ池60番地
	TEL.0567-33-0077 FAX.0567-33-0078
広島支店	〒731-0223 広島県広島市安佐北区可部南5丁目6番1号
	TEL.082-819-1877 FAX.082-819-1878
四国支店	〒761-8031 香川県高松市郷東町577番地5
	TEL.087-832-8181 FAX.087-832-8180
九州支店	〒811-2104 福岡県糟屋郡宇美町井野316番地585
	TEL.092-957-6812 FAX.092-957-6813
札幌営業所	〒001-0915 札幌市北区新琴似町574-2
	TEL.011-769-7631 FAX.011-769-7630
静岡営業所	〒421-0303 静岡県榛原郡吉田町片岡8番2
	TEL.0548-32-6661 FAX.0548-32-3456

■ 取扱い店



◆ カタログ掲載商品について
このカタログの掲載内容は、2025年5月1日現在のものです。製品改良のため、仕様及び外観の一部を予告なく変更する場合があります。

鉄筋梁上の高所で安全に作業ができる

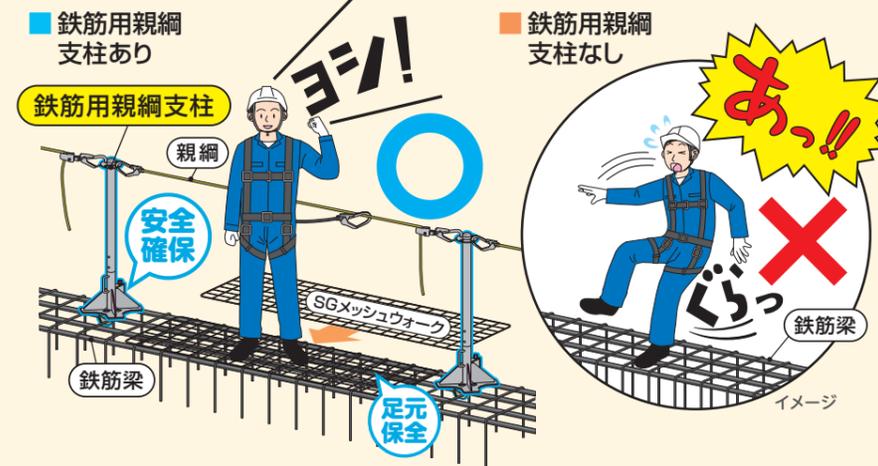
鉄筋用親綱支柱



特長

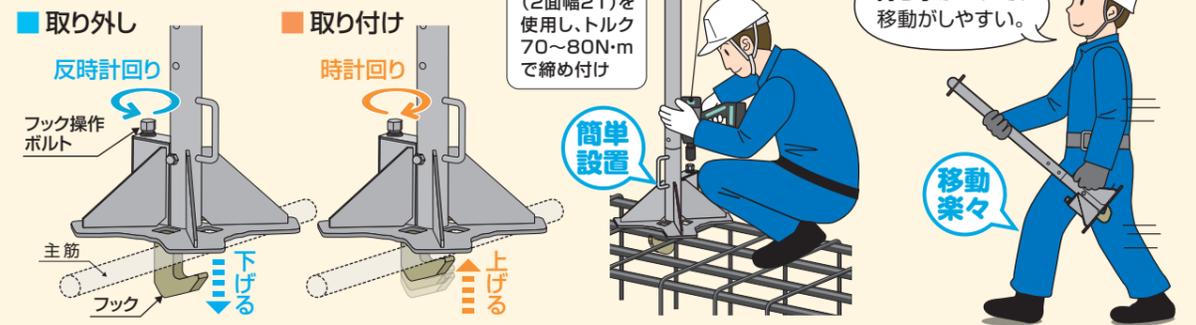
高所鉄筋梁作業の安全確保

鉄筋用親綱支柱は、鉄筋梁上で墜落防止用の親綱を張るために使用します。



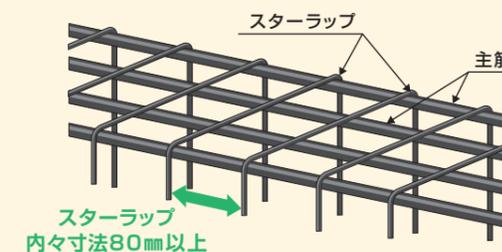
設置・撤去しやすい

親綱支柱は、インパクトレンチで鉄筋へ簡単に取り付け・取り外しができます。

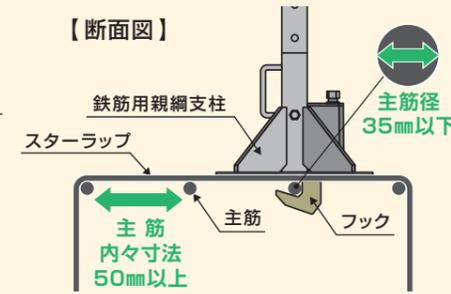


取付可能範囲

【配筋イメージ図】



【断面図】



主筋の内々寸法	50mm以上
スターラップ内々寸法	80mm以上
主筋径	35mm以下

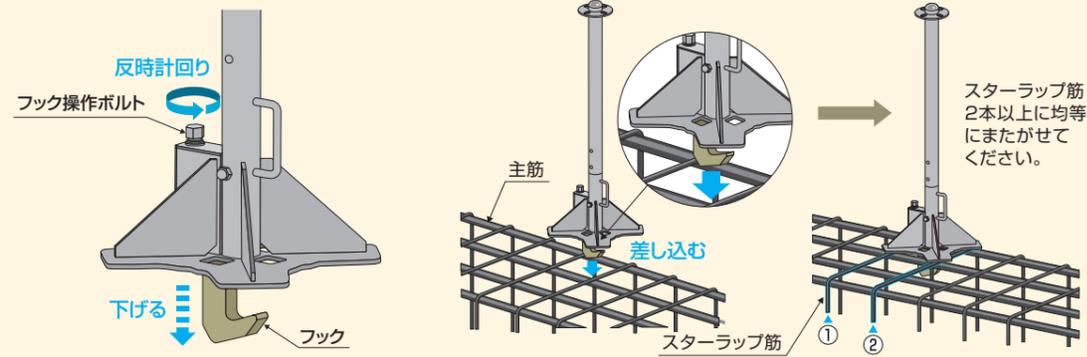
◆ 地域により取り扱いのない商品や色、サイズ、仕様が異なる場合がありますので、詳細は各担当にお問い合わせ下さい。◆

TOZS-2505-01

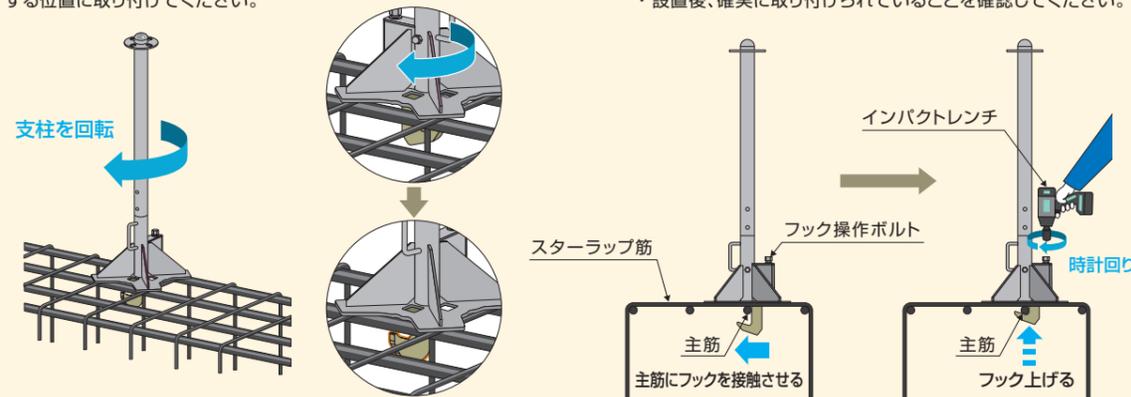
鉄筋用親網支柱

取付け方

- 鉄筋用親網支柱のフック操作ボルトを反時計回りに回し、フックを下げる。
※ 使用前に製品各部に変形・摩耗や作動に異常のないことを確認してください。
・電動インパクト(2面幅21)を使用してください。
- フック部を設置位置の鉄筋のすきまに差し込む。
・フックを主筋と平行(下図参照)に向けて差し込んでください。



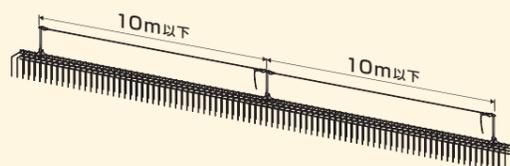
- 鉄筋用親網支柱を回転させ、フックを固定する主筋の方向へ向ける。支柱を寄せ、フックが主筋にしっかり接触するように調整する。
・ベースプレートが2本以上のスターラップ筋に均等にまたがり安定する位置に取り付けてください。
- フック操作ボルトを時計回りに回し、フックを上げて主筋にしっかり固定する。
・締付トルクは、70~80N・m
・設置後、確実に取り付けられていることを確認してください。



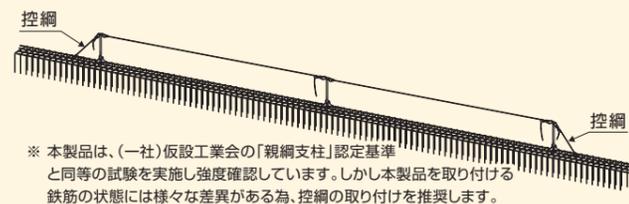
- ①~④を繰り返し同様にスパン反対側の鉄筋用親網支柱を設置する。
・支柱の間隔は10m以下にしてください。
- 鉄筋用親網支柱上部の親網取付リングの穴を利用し、支柱間に親網を張る。
・親網は緊張器を用いてたるまない様に張ってください。
・親網および緊張器は(一社)仮設工業会認定品を使用してください。
・親網は損傷や摩耗等のあるものや、使用中に落下衝撃を受けたものは使用しないでください。



- ⑤~⑥を繰り返し同様に必要な長さ、スパン数の鉄筋用親網支柱および親網を設置する。

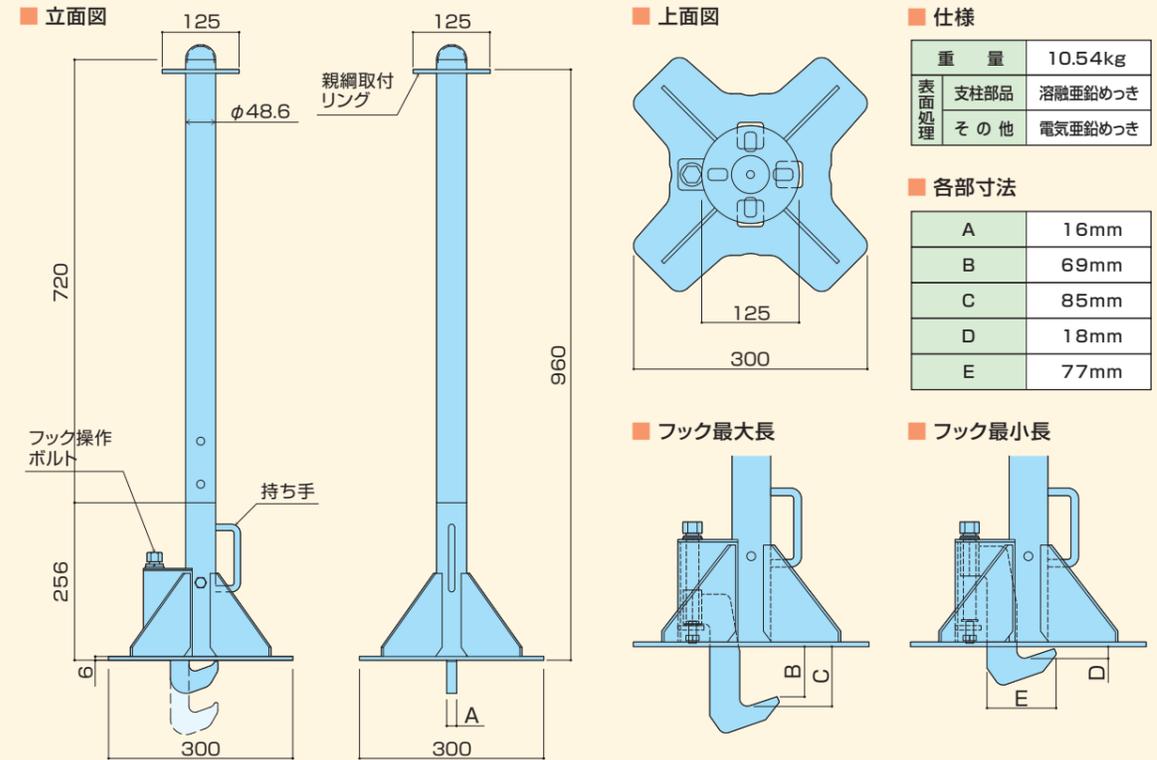


- スパン両端部に控網を設置する(推奨)
・控網は緊張器を使用して角度をつけて設置してください。

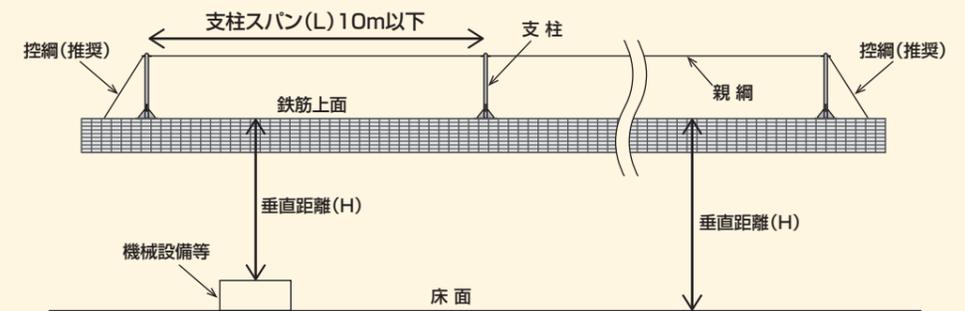


製品形状・概略寸法図

単位(mm)



使用基準



- 支柱の取付けは、製品下部のフック部分を梁主筋等の強固な鉄筋に引っ掛けたのち、フック操作ボルトをインパクトレンチ(2面幅21)で回して締め付けトルク70~80N・mで締め付けを行ってください。また設置後、確実に取り付けられていることを確認してください。
- 使用中は定期的にフック操作ボルトが緩んでいないことを確認してください。
- ベースプレートが2本以上の鉄筋上に均等にまたがり、安定する位置に取り付けてください。
- 支柱のスパン(L)は、10m以下としてください。
- 支柱のスパン(L)は、支柱を設置した作業床と衝突の恐れのある床面または機械設備等との垂直距離(H)に応じ次式により算出した値以下としてください。

$$L = \frac{40}{11} \times (H-4) \text{ [m]}$$

- 端部の支柱(1スパン設置の場合は両側)には、控網(-上図)をスパンの外側に設置を推奨します。その際、控網は、たるまない程度に張って、末端は主筋等、堅固なものに滑動のないよう取り付けてください。本製品は、(一社)仮設工業会の「親網支柱」認定基準(2024年10月現在)と同等の試験を実施し強度確認しています。しかし本製品を取り付ける鉄筋の状態には差異がある為、控網の取り付けを推奨します。
- 1スパン1人で使用してください。
- 連続するスパンで安全帯を使用しないでください。
- 支柱に直接、安全帯ランヤードのフックを取り付けしないでください。
- 親網及び緊張器は(一社)仮設工業会認定品を使用し、支柱上部の親網取付リングの穴に取り付けて、たるまない程度に張ってください。
- 使用前に製品各部に変形・摩耗や作動に異常のないことを確認してください。
- 親網は損傷や摩擦等のあるものや、使用中に落下衝撃を受けたものは使用しないでください。